

『創造経済社会と都市・地域再生 第1回シンポジウム』「創造的コミュニティと地域再生」
2011/01/17

【日時】2011年1月17日（水）18:30～21:15

【会場】大阪駅前第2ビル6階・大阪市立大学文化交流センターホール

【参加登録不要、参加料無料、参加自由】

【主催】大阪市立大学創造都市研究科

【運営企画】大阪市立大学創造都市研究科重点研究委員会

【趣旨】大阪市立大学創造都市研究科では、これまで『創造都市を創造する』という重点研究を行い、社会人大学院としての特性を生かした社会実験型などの新しい研究方法を提起してきた。本年度からは、創造都市の基礎的メカニズムである創造経済の研究に本格的に着手し、その応用としての地域活性化プロセスを検討し「都市・地域再生モデル」を類型化し政策基盤となる条件を研究する。今回は、創造経済社会の重要な成分と考えられる「創造的コミュニティ」をテーマに、どのようにすれば「創造的コミュニティ」がつけられ、地域への刺激になるのか？都市論、メディアアート、IT産業における新規ベンチャーの立ち上げなど、関連の専門家のみなさまに話題を提供頂き考えていきます。

【プログラム】

(1) 研究科長挨拶：中本悟（なかもと さとる）創造都市研究科教授

(2) 重点委員長趣旨説明：明石芳彦（あかし よしひこ）創造都市研究科教授

(3) パネリストからのご発表

①「創造的コミュニティと都市再生」吉村英俊（よしむら ひでとし）氏（北九州市立大学教授）

②「創造的コミュニティと地方の活性化」赤松正行（あかまつ まさゆき）氏（情報科学芸術大学院大学（IAMAS）、岐阜のインキュベータソフトピアジャパンに併設されたマルチメディア大学院）教授）

③「創造的コミュニティと日本のITビジネス」和田純平（わだ じゅんぺい）氏（Finger Piano 開発者、株式会社ソネル代表取締役）

④コメント：小畑和也（おばた かずや）創造都市研究科博士（後期）課程／岐阜市職員

(4) 重点委員長によるパネルディスカッション

【司会】小長谷一之（こながや かずゆき）創造都市研究科教授

お問い合わせ→

【プロフィール】

(1) 中本悟（なかもと さとる）

1985年一橋大学大学院経済学研究科単位取得退学。1985年～88年静岡大学人文文学部助教授。1988年～2003年大阪市立大学経済研究所助教授を経て教授。2003年から大阪市立大学大学院創造都市研究科教授。京都大学博士（経済学）。専攻は国際経済論、北米経済研究、グローバリゼーション研究。著書は、(単著)『現代アメリカの通商政策』有斐閣1999年、中本悟編『アメリカン・グローバリズム』日本経済評論社2007年、田中・中本共編著『地域共同体とグローバリゼーション』2010年など。最近は、グローバリゼーションのもとでの地域再生、サービス経済化の国際比較などの研究を進めている。

(2) 明石芳彦（あかし よしひこ）

神戸大学大学院経済学研究科修了。滋賀大学経済学部、大阪市立大学経済研究所勤務を経て現職。日本の漸進的改良型イノベーション特性と企業間協力関係、ベンチャー企業や社会システムのイノベーションを担う社会的企業の活動と事業のしくみに関心を持つ。編著書『ベンチャーが社会を変える』等。

(3) パネリスト

①吉村英俊（よしむら ひでとし）氏

TOTO 株式会社、北九州市役所を経て、2006.4より、北九州市立大学都市政策研究所教授。研究は、創造的環境や創造都市、業績に『イノベーション構造と都市創生』など。また、ロシアやベトナムとの産業交流、ベンチャーの創出育成などについて行政を支援。学術博士、中小企業診断士。

②赤松正行（あかまつ まさゆき）氏

メディア作家、博士（美術）、国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）教授。コンピュータやネットワークを用いた音楽や映像作品を制作、近年はモバイル・メディアに注力している。代表作にTime Machine!、Okeanos Buoys、セカイカメラ（頓智・）、iPhone SDKの教科書など。

③和田純平（わだ じゅんぺい）氏

株式会社ソネル代表取締役。岐阜工業高等専門学校卒業。岐阜のSIerで働く傍ら iPhone アプリ「FingerPiano」を開発。2010年 iPhone などスマートデバイス向けのアプリケーション開発で起業。

創造経済社会と 都市・地域再生 シンポジウム1

Creative Economy

Urban Regeneration

創造的コミュニティと地域再生

【日時】2011年1月17日(月) 18:30~21:15

【会場】大阪駅前第2ビル6階・大阪市立大学文化交流センターホール

→ <http://www.gsc-cc-osaka-cu.ac.jp/access/>

【参加登録不要、参加料無料、参加自由】

【主催】大阪市立大学大学院創造都市研究科

【運営企画】大阪市立大学創造都市研究科重点研究委員会

【趣旨】大阪市立大学創造都市研究科では、これまで『創造都市を創造する』という重点研究を行い、社会人大学院としての特性を生かした社会実験型などの新しい研究方法を提起してきた。本年度からは、創造都市の基礎的メカニズムである創造経済の研究に本格的に着手し、その応用としての地域活性化プロセスを検討し「都市・地域再生モデル」を類型化し政策基盤となる条件を研究する。今回は、創造経済社会の重要な成分と考えられる「創造的コミュニティ」をテーマに、どのようにすれば「創造的コミュニティ」が生まれ、地域への刺激になるのか？都市論、メディアアート、IT産業における新規ベンチャーの立ち上げなど、関連の専門家のみならずに話題を提供頂き考えていきます。

【プログラム】

(1) 研究科長挨拶：中本悟（なかもと さとる）創造都市研究科教授

(2) 重点委員長趣旨説明：明石芳彦（あかし よしひこ）創造都市研究科教授

(3) パネリストからのご発表

①「創造的コミュニティと都市再生」吉村英俊（よしむら ひでとし）氏（北九州市立大学教授）

②「創造的コミュニティと地方の活性化」赤松正行（あかまつ まさゆき）氏（情報科学芸術大学院大学（IAMAS）、岐阜のインキュベータソフトピアジャパンに併設されたマルチメディア大学院）教授

③「創造的コミュニティと日本のITビジネス」和田純平（わだ じゅんぺい）氏（Finger Piano開発者、株式会社ソネル代表取締役）

④コメント：小畑和也（おばた かずや）創造都市研究科博士（後期）課程／岐阜市職員

(4) 重点委員長によるパネルディスカッション

【司会】小長谷一之（こながや かずゆき）創造都市研究科教授

お問い合わせ→ konagaya@zc4.so-net.ne.jp



○中本悟

一橋大学大学院経済学研究科単位取得退学、神戸大学人文文学部助教授、大阪市立大学経済研究所助教授を経て教授。2003年から現職。京都大学博士（経済学）。専攻は国際経済論、北米経済研究、グローバリゼーション研究。著書は『現代アメリカの通商政策』有斐閣、中本悟編『アメリカン・グローバリズム』日本経済評論社、田中・中本共編『地域共同体とグローバリゼーション』など。最近、グローバリゼーションのもとでの地域再生、サービス経済化の国際比較などの研究を進めている。



○明石芳彦

神戸大学大学院経済学研究科修士。滋賀大学経済学部、大阪市立大学経済研究所勤務を経て現職。日本の漸進的改良型イノベーション特性と企業間協力関係、ベンチャー企業や社会システムのイノベーションを担う社会的企業の活動と事業のしくみに関心を持つ。編著書『ベンチャーが社会を変える』等。



○吉村英俊氏

TOTO株式会社、北九州市役所を経て、2006.4より、北九州市立大学都市政策研究所教授。研究は、創造的環境や創造都市、業績に「イノベーション構造と都市創生」など。また、ロシアやベトナムとの産業交流、ベンチャーの創出育成などについて行政を支援。学術博士、中小企業診断士。



○赤松正行氏

メディア作家、博士（美術）、国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）教授。コンピュータやネットワークを用いた音楽や映像作品を制作、近年はモバイル・メディアに注力している。代表作にTime Machine!、Okeanos Buoys、セカイカメラ（頓智）、iPhone SDKの教科書など



○和田純平氏

株式会社ソネル代表取締役。岐阜工業高等専門学校卒業。岐阜のSlrで働く傍らiPhoneアプリ「FingerPiano」を開発。2010年iPhoneなどスマートデバイス向けのアプリケーション開発で起業